

小平市の福祉的な交通体系のあり方を考える情報交換会（第3回）

意見要旨

平成 25 年 8 月 28 日（水）福祉会館 第3集会室

（1）参加者（団体）の近況等

〈利用者代表〉

- ・先日雨の日に、ユニバーサルデザイン車両を指定して乗ってみた。スムーズに乗車できた。移送サービスを色々ためしてみているが、日曜日やっていないところもある。当日電話できるのか、予約でないといけないのか、車いすで乗れるのか、料金は一概に言えないだろうが、わかる方法があるといいと感じている。
- ・タクシー券を利用しているが、裏面の事業者欄の表示を分かりやすくしてほしい。
- ・福祉有償運送は、作業所の通所・通院での定期利用者が多いので、半ばあきらめている。ユニバーサルデザイン車両が増えれば期待できる。当日の緊急対応をしてもらえるとありがたい。
- ・台数も増えているので、ユニバーサルデザイン車両を、市民一般のための車両だと広めることが必要。
- ・福祉バス事業者は、大型の寝台車も持っているので、緊急対応をしてもらえるとありがたい。

〈福祉有償運送事業者〉

①

- ・朝 8 ～ 10 時、午後 3 時～ 5 時の利用が多い。限られた台数なので集中する時は、時間調整のお願いをしたり、お待たせしたりすることがある。
- ・登録者で、年に数回しか利用がない方も多い。

②

- ・ストレッチャー対応のハイエース車を利用していたが、98年式でリフトも旧式だった。NHKの歳末たすけあいの助成で、新車両、日産キャラバンを導入した。
- ・課題は、ドライバーの確保で、ニーズに応えるには限界もある。

③

- ・ここ数年、利用者は増加している。地域の高齢化を感じている。介護保険事業からスタートしているので、ケアマネジャーからの紹介も多い。
- ・通院等の送迎の際、介護保険制度との弊害を感じている。

〈タクシー事業者〉

①

- ・今年2月末から導入したユニバーサルデザイン車両は、車いすのお客様には評判がいい。杖を利用している方、高齢で多少の歩行困難の方には、乗り込みがしづらい、乗り込めないのでやめてほしい、と言われたことがある。健常者からは、福祉車両に見えるので拒否もある。増車を考えた時期があったが、今年度は断念した。
- ・会社の車両総数を減らして導入している。通常の駅待ちと流しをしていく。
- ・学校の先生から、部活動の試合会場から自転車を数台運んでほしいと依頼を受け、1人と自転車数台を運んだことがある。

②

- ・ユニバーサルデザイン車両を昨年秋から2台導入。利用は増えてきた。日常、使用しているので指定の連絡が入った際に対応できないこともある。今後、さらに2台導入する。全ての予約に対応できるのではないかと考えている。

〈福祉バス〉

- ・おおぞら号は、予約を1か月前から受けるが、ほとんど予約はうまってしまい、急な対応はできない。都内の病院へ送迎すると1台が1日うまってしまう。複数の車いすが乗車できる車両やマイクロバスもあるので、混雑する時間は車両を変えるなど考えられないかと思っている。昭島市（くじら号）では、マイクロバスで事業を行っていたことがあるが、経費の関係で変更になった経緯がある。
- ・現状、緊急時の対応は難しい。

〈介護タクシー事業者〉

- ・配車の受付センターは、土日は休業で、留守番電話にしているが、1日に5件〜10件ほど留守電に予約が入っていた。週末の利用には対応できないので、7月からHPで事業者の検索が出来ることを紹介することにしたら、留守番電話はなくなった。やむを得ず、民間救急等の高い料金で利用している方もいるかもしれない。今後、HPを閲覧できない方への対応を検討する必要があると思っている。

(2) 移送サービスを紹介するパンフレット（案）にいただいた意見と対応について

- ・ 資料2
- ・ 題名について
 - 「高齢者、障がい者などが利用しやすい 移送サービス（福祉輸送）」とする。
- ・ 一般タクシーについて
 - 市内のタクシー事業者で、ストレッチャー対応できる事業者がないので、表記を削除する。
- ・ ユニバーサルデザイン車両について
 - 市内のタクシー事業者が導入しているユニバーサルデザイン車両は、車いす1台と乗客2人が乗れるように改造しているとのことだが、改造方法等は様々なので、重量等による制限があることのみを記載する。

(3) 移送サービスを紹介するパンフレット（修正版）について・資料3

- ・タクシー券の利用が出来ることは、表記しないのか。マークをつける等出来ないか。
→タクシー券は、身体障害者手帳をお持ちの方に限られたものであり、障がい者のしおりで紹介している。今回は、障がい者に限らない方への移送サービスの種類の紹介なので、掲載は考えていない。
- ・ユニバーサルデザイン車両を予約したい時は、車いすをどう説明したらよいか。
→車いすのタイプを電話で伝えるのは難しい。重量と幅や高さで乗車可能か判断していると聞いているので、電動車いすなのかと、総重量と幅を伝えればよい。今日は、終了時間の4時半に、美玉交通さんをお願いして、実際の車両を福祉会館前で見ていただく。後ほど、利用者代表の方に車いすで試乗していただきたい。
⇒タクシー事業者
今まで、実際の利用で、車いすが乗らなかったことはない。電動車いすで重量オーバーでなければ、乗車していただけたと思う。
⇒福祉有償運送事業者 ①
高さのある車いすに乗っている頸椎損傷の方など、車両の枠のところで入らないことがある。リクライニングをいったん下げて乗り込んでいただくことがある。
⇒福祉有償運送事業者 ②
新規会員等で車いす利用の方は、車両のサイズが違うので、迎えに行っても乗れないという事がないように、事前にサイズを測りに伺っている。
- ・一般タクシーと介護タクシーの事業者一覧について、どういう基準で掲載しているのか。追加掲載はどのように受けるのか。
→一般タクシー事業者一覧は、市内に営業所等がある事業者を掲載している。
介護タクシー事業者一覧は、タクシー券の利用可能団体など、障害者福祉課で協定を結び、把握している事業者を掲載している。現状では、障害者福祉課で情報提供させていただいているところに限らせていただいている。
- ・この10社はタクシー券が使えるのか。
→タクシー券が利用できる事業者さんだけ載せている。
- ・おおぞら号の予約が一杯の時に、ハイエース車両を出してほしいと言われる。介護タクシー事業者の登録をしているので、車いす2台乗るハイエース（大型車750円、メーター料金とケアチャージ3千円、階段等の解除料金込み）で対応している。料金は高くなるので、タクシー券を利用できないとなかなか厳しいご意見をいただく。
- ・小平市のタクシー券は他市より枚数が多い。さらにストレッチャーの方に手厚くしてほしい。
→透析の方には多く出している。限られた予算の中で、対応している。

- ・一般タクシー事業者一覧と介護タクシー事業者一覧は、タクシー券の裏に載っている業者数より少ない。
→タクシー券が利用可能という視点では掲載していない。
- ・花小金井方面で24時間ユニバーサルデザイン車両を走らせている三和交通に乗った。予約しなくてもユニバーサルデザイン車両が来てくれた。とても好評で、もう一台の導入を考えていると運転手も言っていた。シートの前が広いので、座った後、足の曲げられない方に好評だということだった。一概に評判が悪いわけではない。タクシーに乗る人は、どうしてもタクシーでなければならない人が乗るので増やして欲しい。

(4) 総括

- ・おおむね、移送サービスを紹介するパンフレット（修正版）について了承をいただいたので、今日いただいた意見をもとに、わかりやすいものにしていきたい。
- ・今後は、事業者一覧の事業者を確認をして、年度内に情報発信していく。
気付いた点等は今後も連絡を受け、修正していくが、市に一任いただいて、この情報交換会は、本日の会で一旦終了とする。総括をしていくので、また、御意見を伺うような時点でお集まりいただくこととしたい。

(5) ユニバーサルデザインタクシー車両試乗

- ・後方扉から、スロープを降ろし、電動車いすで乗車。乗客シートを前方に移動し、たたむことで、サイズの大きい電動車いすも乗車可能だった。高さはギリギリで、頭部に天井が近い。
- ・横のスライドドアから乗車する際、注意の声かけをしても、頭部をぶつける方が多いこと、足をあげることが困難な方は、セダン車両よりも乗車しづらい現状があることも分かった。（セダン車両は腰掛けてから足を乗せられるが、足をあげてステップと車両に乗り、体を引き寄せるように乗り込むこととなる。）

(6) 会議終了後にいただいた意見

- ・利用者代表より
試乗の際、簡易電動車いすは大丈夫だったが、電動車いすの時は、座席シートを前に移動しないと乗車できなかった。同時に付き添いの方の乗車が1人減る。
→タクシー事業者へ連絡し、ご案内するように伝える。
- ・オブザーバー、公共交通担当より
資料3、「ユニバーサルタクシー」の表現は、「ユニバーサル**デザイン**タクシー」が正しい。
→正しい表記に修正する。